



2012 年 IFTA (国際テクニカルアナリスト連盟) シンガポール大会 (第 25 回特別記念大会) 登録受付開始のお知らせ

国際部

IFTA (国際テクニカルアナリスト連盟) の本年 2012 年の大会 (第 25 回特別記念大会) は、10 月 11 日 (木) から 13 日 (土) までの 3 日間、シンガポールで開催されます。

今年の大会は以下の通り、例年の大会にはないメリットが多くあります。興味のある会員の方は、積極的に参加されることをお勧めします。(8 月 31 日までに参加登録すると参加料が割引になりますので、参加される方は、早めの登録をお勧めします。)

*** 本年の IFTA 大会の特徴 ***

1) 第 25 回特別記念大会：

1988 年に第 1 回大会が開催されて以来、IFTA 大会は毎年開催されてきました。本年の大会は第 25 回目の大会となります。25 年というと 4 分の 1 世紀であり、重要な節目となります。夫婦で言えば銀婚式祝いの年となります。このため、本年の大会は IFTA にとって特別な記念大会であり、盛大に行われます。なかなかない機会です。

2) 世界有数の金融センターで開催され、高水準：

IFTA 大会では例年、世界各国のスピーカーが講演を行い、各国のテクニカルアナリスト協会から多くの会員が参加します。このため、大会への出席は、世界レベルのテクニカル分析の研鑽を積むと同時に、世界各国からの参加者との交流をするいい機会になります。

特に本年の大会は、アジア及び世界を代表する金融センターの 1 つで、多くのヘッジ・ファンドが拠点を構えるシンガポールで開催されるため、例年に増してスピーカーを厳選しました。例えば、ジョン・ボリンジャー氏はボリンジャー・バンドの開発者として有名ですが、実は、同氏は CFA 協会認定証券アナリスト (米国証券アナリスト) でもあり、長年、テクニカル分析とファンダメンタル分析を組み合わせた手法である「合理的分析」を長年提唱してきました。同氏もスピーカーのひとりとして熱弁をふるいます。

また、参加者のレベルも、例年より高水準になると予想されています。

多くの人にとって、このような高水準の大会に参加することで得るものは非常に大きいと思われます。

3) 国際舞台で活躍する日本のトップ・プレーヤーの活躍を直接見る機会：

今年の大会では、世界を舞台に活躍中の、以下のお二人にもスピーカーになって頂いています。

①林則行さんは、米コロンビア大学にて、MBA を取得、ジム・ロジャーズに師事しました。欧米の投資銀行および投資信託会社にてポートフォリオ・マネジャー、シニア・アナリスト、のちに世界最大の政府系ファンドであるアラブ首長国連邦のアブダビ投資庁 (ADIA) にて、日本株運用部長を務めた経歴を持つ、非常に数少ない日本人の1人です。現在は、香港にてアシュク・インベストメント代表を務めています。投資業界にて30年以上の経験を持ち、著書は明快なルールと体系的なアプローチにより、投資家から高い評価を得ています。また、日経マネーのWEB 連載は同社記事の中で最大のヒット数を記録、また、講演も最高レベルの評価を得ています。林さんには、ローソク足の考え方に基づいた全く新しい方法である「ローソク足ボラティリティ」について語って頂きます。

②新見明弘さんも、25 年以上にわたり、世界のさまざまな地域（ロンドン、東京、ニューヨーク、シンガポール）のさまざまな金融機関（証券会社、投資銀行、信託銀行、アセット・マネジメント）にて活躍を続けてきた、国際派日本人の1人です。資産運用会社において、さまざまな計量ツールと運用手法を駆使し、絶対リターンを追及するヘッジファンド・タイプのポートフォリオを運用した他、信託銀行でヘッジ・ファンド、ファンド・オブ・ファンズ、CTA、プライベート・エクイティ・ファンド等のオルタナティブ投資におけるデューデリジェンスを担当、また自社以外の優秀なヘッジファンド・マネジャーを育成するユニークなヘッジファンド・プラットフォーム・ビジネスを企画・設立し、自身で世界中のマーケティングも担当したという経歴を持っています。現在はニューヨークを拠点に、ヘッジ・ファンド・オブ・ファンズ会社のディレクターを務めています。新見さんには、独立系運用会社が成功するために必要なもの（運用成績だけではない）について、語って頂きます。独立して成功を目指すファンド・マネージャー、トレーダーには必見の講演です。

4) ユニークな「パワーアワー」プログラム：

本年の大会では、IFTA 大会では最初の試みとなる「パワーアワー」というプログラムが実施されます。それは、1 人のスピーカーが1つのテーマについて話す一般セッションとは違い、同じテーマについて、複数のスピーカーがオフレコで意見を述べ合い、ディベートを行うというユニークなセッションです。ふたつの「パワーアワー」セッションがあり、「金融市場における差し迫る危険と機会」と「テクニカル分析に基づく近い将来有効な戦略」がテーマになっています。当協会からも、本間理事・国際部長がスピーカーの1人として参加します。

5) 「参加」型のプログラムも数々あり：

スピーカーでない一般参加者も受動的にスピーチを聞くだけでなく、自らも参加できる「テクニカル・ウォークアバウト」というセッションがある他、「スピーカーとの交流、インフォーマルな意見交換」セッションや、「レセプション」（大会参加者のインフォーマルな交流会）があり、最後は「大晩餐会」で締めとなります。

これらの「参加」型のプログラムでは、世界の著名スピーカーを含め、世界各国の人たちと、非常に身近に接触し、交流することができます。

ひとつひとつの講演の理解度はどうであれ、「大会に『参加』した！」という気分になります。多くの人にとって、この充実感が貴重な体験となるでしょう。

6) 日本語の同時通訳サービスあり (※1) :

日本からの参加者のために、英語・日本語の同時通訳サービスが提供される予定です。「英語が得意でない、自信がない」という人も安心して参加できます。

7) 講演録画配布 :

基本的に全講演者の講演がビデオ録画され（オフレコで行われる「パワー・アワー」は除きます。）、大会参加者に配布される予定です。これは IFTA 大会が始まって以来、初の試みです。これにより、講演が実際に行われているときにはよく聞き取れなかったり、理解できなかった講演についても、録画を繰り返し見ることで、理解できるようになります。また、プレゼンテーションの上手な外国人スピーカーのプレゼンテーションの仕方を繰り返し見て、プレゼンテーション・テクニックの習得を図ることもできます。日本人は一般に、プレゼンテーションが下手と言われますが、本大会は講演技術を習得するのに絶好の機会となるでしょう。特に、学習意欲が高い方、とりわけ、将来の IFTA 大会におけるスピーカーを目指す方には、是非お勧めです。

8) 日本から行きやすい :

IFTA 大会は 2001 年に東京で開催されて以来、昨年まで続けて欧州・中東、北米という、日本から比較的遠く、行きにくい場所で開催されてきましたが、今年は同じアジアにあり、比較的近いシンガポール開催ということで、ずっと行きやすくなります。この 10 年強の間で、日本から最も行きやすい IFTA 大会と言えるでしょう。

① 航空料金が安価 :

大会開催日前後の日本～シンガポール間の往復航空券料金（格安エコノミー）を大手の旅行代理店のウェブ等で見ると、直近時点でおおよそ、要乗継ぎ便の最安値で 4 万円台、直行便で 6 万円台となっているようです (※2)。

② 飛行時間が比較的短い :

直行便の標準飛行時間は 6 時間 45 分 (※3) で、近場というわけではありませんが、10 時間超かかる欧州や米国東海岸等と比較すると近いと言えます。

③ 時差が殆どなし :

日本との時差が 6～8 時間（冬時間中は 7～9 時間）がある欧州や、おおよそ半日もある米国東海岸と違い、シンガポールとの時差は 1 時間しかありません。このため、時差ボケにならず、時間を有効に使えます。

④夜行便もあり：

夜行便も複数本飛んでいます。これを使うと更に時間を有効に使えます。例えば、大会前日（10月9日（水））夜中発の便で日本を発つと、翌朝シンガポールに着き、そのまま大会に参加することが可能です。会社をなかなか休めないという人でも、これを使うと、10月10日（木）と11日（金）の2日だけ休むだけで、大会にフルに参加できます。

9) 滞在しやすい：

シンガポールは非常に近代的な、発達した都市国家で、滞在しやすい場所です。

①治安がよく安全で、大抵の場所を安心して歩けます（※4）。

②クリーンで、医療水準・衛生水準も高いです。

③公共交通機関とタクシーは効率的です。

④英語がよく通じます。

⑤食べ物と水は安全です。レストラン、フードコート等、食事をとれる場所は数多くあり、種類も豊富で、選べます。料金水準も一般的に、欧州等と比べるとかなり安く、旅行者が食べ物で悩むという話はなかなか聞きません。

また、マイナーなことですが、シンガポールではチップの習慣が基本的になく、チップを渡すべきかどうか、などということで悩む必要はありません。対日感情も概ね良好のようです。

10) 多文化社会で見どころあり：

シンガポールは、華僑、マレー人、インド人に加え、世界中からさまざまな人種が集まっている多文化的な都市国家で、独特な社会構造や雰囲気を楽しめます。マレーシアにも簡単に足を伸ばせます。

以上のように、今年の大会は、なかなかない第25回記念特別大会というだけでなく、参加しやすく、かつ、参加メリットの大きい大会です。関心のある協会の方には、積極的に参加することをお勧めします。

リンク：

- ・ IFTA 大会英語パンフレット：
<http://www.ifta.org/public/files/events/next-conference/brochure.pdf>
- ・ IFTA ウェブサイト・2012 年大会のページ <http://www.ifta.org/>
- ・ 大会参加登録のページ https://www.ifta.org/register/annual_conf25.php
- ・ マリナ・マンダリンホテル（大会開催会場）における IFTA 大会特別価格での予約サイト
https://gc.synxis.com/rez.aspx?Chain=9102&Hotel=23538&Arrive=2012%2f10%2f09&start=availability&Depart=2012%2f10%2f16&Rooms=1&Adult=1&promo=IFTA&shell=frame&_utma=1.2070514541.1331805038.1335335317.1335344735.59&_utmb=1.4.10.133534
- ・ マリナ・マンダリンホテルの連絡先
<http://www.meritushotels.com/en/hotelinformation/marina-mandarin-singapore/contact-us>
- ・ リッツ・カールトン・シンガポール（大会会場に近い（徒歩 5-7 分））のウェブサイト
<http://www.ritzcarlton.com/en/Properties/Singapore/Default.htm>
- ・ リッツ・カールトン・シンガポールの予約サイト
<https://www.ritzcarlton.com/en/Properties/Singapore/Reservations/Default.htm?gc=acgaca&nr+1&ng=1#top>
- ・ リッツ・カールトン・シンガポールの予約フォーム
<http://www.mgmtsol.com/clients/ifta/conf2012/Ritz-Carlton-Reservations.pdf>
- ・ グランド・パーク・シティー・ホール（その他の高級ホテル（大会会場から徒歩 16 分、バス 12 分、タクシー 5 分））のウェブサイト
<http://www.parkhotelgroup.com/cityhall/>
- ・ グランド・パーク・シティー・ホールの予約サイト
<http://www.mgmtsol.com/clients/ifta/conf2012/Grand-Park-Reservations.pdf>
- ・ ホテル・コンラッド（大会会場に近い（徒歩 3 分））のウェブサイト
<https://www.ritzcarlton.com/en/Properties/Singapore/Reservations/Default.htm?gc=acgaca&nr+1&ng=1#top>
- ・ ホテル・コンラッドの予約フォーム
<http://www.mgmtsol.com/clients/ifta/conf2012/Conrad-Reservations.pdf>

※1：サービス利用希望者が少ない場合は、提供を見合わせるようになる可能性があります。

※2：直近時点における料金水準であり、今後変動する可能性があります。

※3：便により、飛行時間は異なります。また、便が遅延することもあります。

※4：日本と同様、全ての場所で安全が完全に保証されているわけではなく、比較的安全とされる場所であっても、最低限の注意は必要です。旅行中に遭遇した被害について、当協会および執筆者は一切の責任を負いません。